

2日間で7万人が来場!

家電フェア2007& 大処分蚤の市

3.17 & 18 福岡Yahoo! JAPANドーム

福岡に初上陸!!



7万人もの来場者で埋まったフェア会場。

3月17～18日、ヤマダ電機は「家電フェア2007&大処分蚤の市」を、福岡Yahoo! JAPANドームで開催した。これは昨年11月に前橋で開催したデジタル家電フェアを、さらにスケールアップしたもの。2.5倍に広がったフェア会場には、前回の21社を上回る有名メーカー30社が集結。ヤマダ電機との一致団結による「家電&ITの総合イベント」を展開した。

「発見・体験・感動・発信」をテーマとする同フェアは、お買い得商品を即売する「大処分蚤の市」、最新家電を見て、試して、その場で買える「メーカーブース」、そして人気タレントやキャラクターが続々と登場する「イベントコーナー」の3本柱が売り物だ。家族揃って楽しみながら買い物ができるとあって、両日も午前10時の開場と共に多数のお客が押し寄せ、その波が終日途切れない大盛況となった。

ヤマダ電機の一宮浩二副社長はフェアのコンセプトを「わくわく・るんるん・どきどき」という。そして「通常の店舗では不可能な圧倒的な数のお買い得品、盛り沢山のイベントなどで、1日中、楽しみながら買い物をしていただきたい」と語っている。



「フェアの充実ぶりは大したもの」と開会式で挨拶したソフトバンクの孫正義社長。

最近のヤマダ電機では「ショッピング・エンターテインメント」というキーワードが頻りに登場する。これは単に商品を購入するのではなく、店に居ること自体を楽しんでもらい、その一環として買い物をしてほしいということだ。いわば「店舗のテーマパーク化」ともいえる。

しかし、これを徹底追求



するには、売り場面積に成約がある店舗の中では限界がある。そこで、ヤマダ電機が描くショッピング・エンターテインメント像を、売り場面積の成約なしに具体化したものが「家電フェア&大処分蚤の市」である。

実際、会場内には子供連れの姿が数多く見受けられ、キャラクターショーやキッズエリアからは、終始歓声が途切れることがなかった。また、メーカーブースでも各社が子供向けの催し物を展開するなど、家族連れを楽しませることに徹した二日間となった。

「これだけの新製品を見るだけでなく、買うことのできるイベントは、私が知っている限りヤマダ電機さんの家電フェアだけ。その充実ぶりは大したもの」とはソフトバンク・孫正義社長の言葉だ。17日の開会式でこう挨拶し、来場客からの大きな拍手を浴びた。

情報発信、ショッピング、エンターテインメント、3つの融合にチャレンジするヤマダ電機の「家電フェア&大処分蚤の市」07年は全国主要都市で開催する計画になっている。



梨花トークショーには多くの観客が詰めかけた。



二人の世界を奏でた「すぎもとまさと&チェウニ」のジョイントLIVE。



KBCテレビ「気ままにLB」で生中継された松村邦洋&乙葉のトークショー。

法人コーナーではDr.Pen Liteをデモンストレーション。



デジタル家電を中心に最新モデルが並んだメーカーブース。



オープンレンジで試食会を開催した日立。隠れた人気スポットだった。



聖&スワンプのジョイントライブ。「みんな頑張れ」で会場を盛り上げた。



終日、子供たちの歓声が響き渡ったキッズエリア。



オープン戦の合間を縫って駆けつけた? ホワイト選手。